

# やまがた市議会報

発行 山形市議会 編集 山形市議会事務局 山形市旅籠町二丁目3-25 電話 642-8404 平成26年5月1日/188号  
ウェブサイト <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/gikai/> やまがた市議会 検索

## 東北六魂祭

東北に活力を！  
5月24日(土)・25日(日)開催！



▲東北6市の祭りが集結し、山形を盛り上げます！(写真は平成25年福島市開催時の様子)

3 月  
定例会

総額1,781億円の平成26年度当初予算を可決…8ページ

議員定数の見直しにより、次回選挙から議員33人に  
「山形市日本酒で乾杯を推進する条例」の制定で地産地消を推進



## 一般質問



未来ある新たな施策に  
活発な意見の花が咲く

本市の宝「石鳥居」を  
国宝に！

浅野 弥史 議員



**質問** 鳥居ヶ丘の石鳥居の修理計画を聞きたい。また、蔵王成沢の八幡神社石鳥居への積極的な保存・修復などの企

画提案や支援を行うべきではないか。  
**答弁** 平成26年度に保存修理の調査を行い計画を策定し、27年度から計画に基づき修理

を行いたい。また、八幡神社石鳥居の保護も、今後行う鳥居修理工事で得られる技術的な成果を踏まえ、必要な手立てを所有者と共に検討していきたい。

**質問** 工事完了後は国宝化を目指してどうか。また、駐車場の整備も含め、積極的に観光振興に活用していくべきではないか。

**答弁** 国宝化は、文化庁が自治体の要望とは関係なく選定している。観光振興については、街なか観光の資源として活用していきたい。駐車場は、付近に適当な場所がないため、方法を調査研究していきたい。

**質問** 現在建設中の屋内型幼児遊戯施設とはコンセプトが違う施設を、市南部に建設し

### 質問者

### 質問の要旨

浅野 弥史

〔一答問〕

より良い子育て環境の整備、通学路の安全点検、文化財の保護と活用、企業誘致、観光振興策、スポーツ振興

尾形 源二

〔一質問〕

街づくりは人づくり、住民自治が完結している街に、基本的インフラで今最も必要なもの、学術研究都市の色彩を強めよ。ほか

諏訪 洋子

〔一質問〕

市民の参画と英知を生かすまちづくり、最上義光歴史館と山寺「御霊屋」、安心して住み続けられるまちづくり。ほか

小野 仁

〔一質問〕

「山形らしさ」が輝くまちづくりの具現化に向けて、都市計画マスタープラン、防災施策、学校教育体制及び施設整備。ほか

佐藤 秀明

〔一質問〕

生活困窮者自立支援法、特別な支援が必要な児童生徒に対する支援、介護保険制度の改正、再生可能エネルギー。ほか

今野 誠一

〔一質問〕

農業の振興、介護保険事業計画、地域産業としての建設産業の振興

川口 充律

〔一質問〕

上下水道事業、災害対策、書籍・文書の保存、空き家空き地対策、伝統工芸・産業の振興策。ほか

後藤 誠一

〔一質問〕

山形の歴史・文化の継承、新・都市マスタープラン、未来に向けたまちづくり、分煙社会を目指して



▲ご当地ナンバー案

**質問** 産業団地への誘致対象は、ソフト関係・研究・学術機関に絞り込み、育成と張り付きの誘導を考えるべきだと思いませんか。

**答弁** 平成25年3月策定の新産業団地開発基本計画で位置付けている自動車関連分野、食品加工分野、環境分野、医療・健康分野の4業種を対象に、これらの研究開発部門も含め誘致していく。

**質問** 東北州の州都を担うため、山形新幹線の山形・東京間2時間実現や山形空港の国際化に対応した施設整備で、拠点性を高めるべきだと考

えるべきではないか。

**答弁** 第7次総合計画の基本構想で、市民、事業者、行政

**質問** 山形新幹線などの高速化へ向けた奥羽本線の整備を重要な課題としており、機能強化を毎年、国・県へ要望している。山形空港の活性化に向けては、羽田空港を經由したインバウンド・アウトバウンドの利便性の向上を進めることが重要であると認識している。山形空港利用拡大推進協議会の構成員として、協議会が行っている利用拡大の対策などの取り組みに協力していく。

**質問** 住民自治を育て成熟させるため、住民自治基本条例を定める必要があると考えるがどうか。また、今後の市内分権の在り方について考えるべきではないか。

**答弁** 第7次総合計画の基本構想で、市民、事業者、行政

**質問** 坂巻公園西側のJR線路下をくぐるトンネルは、道幅が狭く通学路としては非常に危険である。迂回路の検討や関係機関への働きかけを行うべきではないか。

**答弁** 子どもへの安全指導を強化し、学校・保護者、地域住民の意向を確認しながら、関係機関と連携して対応を検討していく。

**質問** 市民が身近に触れる憩いの場として、市街地に大規模な緑地公園の整備を検討してはどうか。

**答弁** 市民が身近に触れる憩いの場の整備は、安全で快適な生活環境をつくる上で大変重要であると認識しているが、市街地には霞城公園や薬師公園などがあることから、大規模な緑地公園を整備する計画はない。

**質問** 馬見ヶ崎河川敷を、芝生広場やパターゴルフなどの各種スポーツに利用できるよ

う、住民のライフステージにふさわしい河川敷を整備すべきだと思いませんか。

**答弁** 馬見ヶ崎河川公園の再整備の計画は無いが、パターゴルフや冬期間の新たな利用について、関係団体と維持管理を含めて、現状の河川敷を有効利用するよう協議していく。

**質問** ZAOナンバーを導入することで山形を全国に発信し、地域活性化に繋げてはどうか。

**答弁** 現在、国において新たなご当地ナンバーの募集をしていないことから、導入はできない状況となっている。地域での導入に向けた盛り上がりが必要だと考えており、そのような気運となった場合には、導入に向けて検討していく。



尾形 源一 議員

東北州の州都(圏)を担うべく  
もっと重厚で品格・格調の高い街に



▲凍結防止対策が施された石鳥居

**答弁** 保育所の無償化や財源などに多くの課題があるため、国に先行して実施する考えはない。

**質問** 幼稚園と保育園の財政支援には差があるため、上山市同様、幼稚園就園奨励費を5%上乘せしてはどうか。

**答弁** 幼稚園就園奨励費は、国の補助が3分の1以内となっているが、現在それに至

ておらず、まずは満額補助されるよう国に要望していく。

**質問** 東京都杉並区のように、有料の子育て支援サービスへ利用できる「子育て応援券」を発行してはどうか。

**答弁** 無料の子育て講座や、有料の一時保育などのサービ

スを実施しており、国の動向を見ながら、慎重に検討していく。

**質問** 坂巻公園西側のJR線路下をくぐるトンネルは、道幅が狭く通学路としては非常に危険である。迂回路の検討や関係機関への働きかけを行うべきではないか。

**答弁** 子どもへの安全指導を強化し、学校・保護者、地域住民の意向を確認しながら、関係機関と連携して対応を検討していく。

**質問** 中心市街地活性化のため、鋳物や和傘、花笠などの伝統的工芸品や郷土文化を結集し、土産品が購入できる施設を造ってはどうか。

**答弁** 寄贈を受けた旧木村邸の有効活用を検討している。今後、施設に導入する機能の一つとして、伝統的工芸品や産業史料の展示なども検討していく。

※ インバウンド・アウトバウンド…インバウンドは外国から自国に入ること。アウトバウンドは自国から外国へ出ること。





## 市民の英知を生かし 信頼される市政運営を

諏訪 洋子 議員

**質問** 市民の公共サービス参加や広聴の新しい仕組みである、ガバメント2.0を導入してはどうか。

**答弁** 先行して採用している自治体の状況を調査するとともに、平成27年度の公式ホームページシステム更新に向けた見直しの中で研究していく。

**質問** 山形大学が行った山寺御霊屋の研究結果を、最上義光歴史館で紹介してはどうか。

**答弁** 研究成果の紹介方法について、山形大学と具体的に協議していく。

**質問** 避難行動要支援者名簿の作成が義務化されたが、ど



▲歩道の破損を市役所へメールで情報提供



## 『山形らしさ』が輝く まちづくりの具現化に向けて

小野 仁 議員

**質問** ユネスコが創設した創造都市ネットワークの映画部門での加盟を目指してはどうか。また、その準備として、

**答弁** 山形国際ドキュメンタリー映画祭が世界的に高い評価を受けており、ドキュメン

のように進めていくのか。

**答弁** 名簿の共有や制度の普及について、意見を聞きながら具体的な準備を進めている。26年度から防災と福祉部門の連携を強化し、町内会などに協力を依頼しながら、制度の周知と個別計画の作成を推進していく。

**質問** 高齢者の移動をサポートする電動自転車購入補助を行っているかどうか。

**答弁** 冬季間に降雪があることや、交通安全啓発などに課題があり実施は難しい。

**質問** デートDVは若者への啓発が重要と思うがどうか。

**答弁** 教育委員会と連携を取りながら、中学・高校生への啓発に努めていく。

**質問** 男女共同参画視点の防災・減災シンクタンク機能が必要だと考えるがどうか。

**答弁** 高機能消防指令センター

**答弁** 男女共同参画の視点に立った地域防災計画へ見直し

ており、視点を生かした施策を推進していく。

**質問** 男性職員の育休取得をどのように考えているのか。

**答弁** 最終的には職員自身の判断だが、折に触れ伝えながら今後も働きかけていく。

**質問** 子ども・子育て支援新制度の利用者支援事業に取り組み、情報提供を充実すべきだと考えるがどうか。

**答弁** 必要性や実施方法などを十分に検討した上で、子ども・子育て会議委員の意見を反映していく。

**質問** 通信指令のデジタル化に伴い、救急車出動の対応や手順なども大きく変更されたと思うが、どのようにになったのか。

**答弁** 県が実施する地域防災アドバイザー育成事業に防災士の資格取得があるため、自主防災組織などへ積極的に参加の呼びかけを行うとともに、補助の在り方についても研究していく。

**質問** 学校教育体制には様々な課題がある。安心して児童や生徒に向き合うために、緊

の整備に伴い、災害種別に対応した様式に変更している。

**質問** 24時間健康・医療相談サービスから22件が救急搬送に繋がられた。通信指令員が医学的知識を持つて対応しなければならぬ場合もあると思うが、的確な判断ができるのか。

**答弁** 県消防学校の救急科を修了した救急隊員の有資格者を配置している。25年度に国から示された研修を受けるとともに、今後とも充実した研修を実施していく。

**質問** 119番訴訟は、市長の任期の中で積極的に解決していくべきだと考えるがどうか。

**答弁** 解決を急ぐのは同感であり、その一つとして和解があるが、裁判所からの提案であれば検討したい。

急連絡のできる施設整備などが必要ではないか。

**答弁** 特別支援指導員を平成28年度までに36人配置することを目標としている。全ての小・中学校にインターフォンを設置しているが、うち2校はプールおよび屋内運動場と職員室間へ限定しているため、整備について検討していく。

**質問** 山形伝統工芸みこしは

\*1 ガバメント2.0…国や自治体などの行政が保有しているデータを個人や企業などの民間が利用することで、住民の力を行政サービスに生かしたり、住民が政策決定に参加したりする取り組み。

\*2 創造都市ネットワーク…ユネスコにより創設されたプロジェクトのひとつで、映画、デザイン、文化など7つの分野から、世界でも特色のある都市を認定したもの。



▲生活困窮者へ積極的にサポート



佐藤 秀明 議員

## 新たな社会保障制度の確立を



▲創造都市ネットワークへの参加を期待

**質問** 生活困窮者自立促進支援モデル事業の反応と課題はどうか。

**答弁** 平成26年1月末までに535件の相談があり、そのうち継続的な支援プランを作成したのが8件となっている。生活困窮者の把握に一定の成果が得られているが、生活困窮になる原因が複合的に対応が難しい場合が多いことが課題である。

**質問** 生活困窮者自立支援法に基づく事業のうち、選択制になるものが示されているが、どの事業を行うのか。

**答弁** 生活困窮者自立支援法

**質問** 生活困窮者自立促進支援モデル事業の反応と課題はどうか。

**答弁** 平成26年1月末までに535件の相談があり、そのうち継続的な支援プランを作成したのが8件となっている。生活困窮者の把握に一定の成果が得られているが、生活困窮になる原因が複合的に対応が難しい場合が多いことが課題である。

**質問** 特別支援教育を必要とする児童への対応として、特別指導員を増やすべきだと思うがどうか。

**答弁** 計画に基づき26年度は4人を増員して対応するが、今後さらさら増員していき

**質問** 特別支援教育を必要とする児童への対応として、特別指導員を増やすべきだと思うがどうか。

**答弁** 計画に基づき26年度は4人を増員して対応するが、今後さらさら増員していき

**質問** 特別支援教育を必要とする児童への対応として、特別指導員を増やすべきだと思うがどうか。

**答弁** 計画に基づき26年度は4人を増員して対応するが、今後さらさら増員していき

**質問** 特別支援教育を必要とする児童への対応として、特別指導員を増やすべきだと思うがどうか。

**答弁** 計画に基づき26年度は4人を増員して対応するが、今後さらさら増員していき

**質問** 特別支援教育を必要とする児童への対応として、特別指導員を増やすべきだと思うがどうか。

**答弁** 計画に基づき26年度は4人を増員して対応するが、今後さらさら増員していき

山形仏壇を市民に広く周知するすばらしい機会であり、継続的に活用・展示して市民にPRしていくべきだと思うがどうか。

**答弁** 東北六魂祭での披露を考えているが、その後については、市役所での展示や多くの観光客の目に触れる場所での常設展示を行うなど、広くPRしたい。また、イベントな

どで活用することも考えている。

**質問** 今年開催される東北六魂祭を契機として、本市の麺文化のPRに力を入れていくべきと思うがどうか。

**答弁** 東北六魂祭には多くの来場者が見込まれ、観光資源を発信する絶好の機会だと考えている。郷土色豊かな食や物産を提供するイベントを計

画しており、本市の麺文化についても、全国にアピールできるように関係機関と協議していく。

**質問** 受動喫煙防止対策について、市有施設ではどのように対応するのか。また、施設の通路は喫煙場所にすべきでないと思うがどうか。

**答弁** 山形県喫煙対策総合推進事業の一環として、市有施

設の受動喫煙防止対策の状況調査を17年度より毎年行っており、敷地内や施設内の全面禁煙などの受動喫煙防止対策の実施率は、25年度で97.01%となっている。出入口付近の喫煙場所の取り扱いについては、必要な措置を取るよう注意を喚起しているが、再度通知するとともに、調査項目に追加し、実態を調査していく。

などと話し合いながら、具体化を検討していきたい。

**質問** 地域資源を活用した再生可能エネルギー事業を推進するため、再生可能エネルギー基本条例を制定してはどうか。

**答弁** 再生可能エネルギー活用指針の取り組みを進めながら、条例の制定を検討してい





### 地域社会に目を向けた 施策の推進を

今野 誠一 議員

**質問** 新たな農業・農村政策は、現場の声を無視した拙速な農政改革により進めようとしている。家族農業の役割が見直されている中で、効率性を求める財界寄りの大規模化・法人化をどう考えるか。

**答弁** 多様な担い手を確保するため、認定農業者などを育成しながら、地域農業を支える兼業農家などの活動を支援していく。大規模経営化は、農地の効率的な利用などを図るうえで重要な施策だと考えている。

**質問** 営農ビジョン作りに欠かせないとされる、適切な人・



▲新たな農業政策のもと農作業スタート

農地プランの実現に向け、集落での制度周知や話し合いが重要となる。継続的にアドバイスができる専門員を配置してはどうか。

**答弁** 平成26年度から地域連携推進員として、農業に精通し専門的知識を持った人材を雇用する予定である。

**質問** 農地バンクは、家族農業の概念を打ち砕き、株式会社などの参入を進めることが予想される。これまで農地的確な利用集積をしてきた農業委員会の役割をどう考えるか。

**答弁** 農地中間管理機構が目的とする担い手への農地集積と集約化は、農業経営所得の安定と農村の持続的発展に寄与するものと思われるため、農業委員会も協力していく。さらに、既存の農地法に基づ

く仕組みも活用しながら農地集積を図り、農家の経営確立の支援に努めていく。

**質問** 介護保険制度改定を踏まえ、第6期介護保険事業計画を策定することになるが、高齢者が住み慣れた24時間対応できる在宅医療や在宅介護を、地域の特性に応じたシステムにするためどのように取り組んでいくのか。また、県の方向性とどう関連付けるのか。

**答弁** 準備として日常生活圏域ニーズ調査を実施し、現状分析や調査結果を踏まえ、中長期的な視点で、地域包括ケアシステムの充実を図るための計画を策定していく。なお、県で策定予定の計画との整合性を図りながら進めていく。

**質問** 介護予防訪問介護（ホームヘルプ）・介護予防通

所介護（デイサービス）の2つの介護予防サービスは、平成29年までに市町村が実施主体の地域支援事業に移行するが、市の財源確保が必要な中でこれまでの水準をどのように保っていくのか。

**答弁** 新たな制度での介護予防給付・介護予防事業等の財源は、現在と同じ構成が予定されている。今後国が示す予定のガイドラインなども参考にしながら取り組んでいく。

**質問** 今後の公共事業を担う地元建設業を地域産業として、発展を支援するための建設産業振興担当の専門職員を配置してはどうか。

**答弁** 市や県の支援を積極的に周知しながら、建設業界が抱える課題に対応していく。市に専門の担当を置くことは現在のところ考えていない。



### 空き家対策の推進で 安全・安心な住環境を

川口 充律 議員

**質問** 平成25年に老朽危険空き家の情報収集を実施したが、今後の空き家対策をどのように行っていくのか。

**答弁** 26年度に老朽危険空き家除却の補助制度を創設し、危険空き家の除却を促進していく。併せて、空き家情報の収集や所有者への啓発も引き

続き実施していく。

**質問** 地方公営企業会計制度の改正で、使用料の値上げや経営形態の変更はないか。

**答弁** 資本に計上していた企業債を負債に振り替えても企業債残高に変わりがないため、経営に影響を与えることはないと考えられる。今後も使用料の値上げなどを行わず、経営の効率化に取り組んでいく。

**質問** 福島原発で核燃料の取り出し作業が続いているが、再び大規模な地震が起これば放射性物質が拡散し、山形にも広がる可能性がある。その際の初期避難計画の策定状況と市民への周知方法はどうか。

**答弁** 隣県で原子力事故が発生した場合、屋内退避指示や市外への広域避難などの措置をとる。また、水道水や農産

物などから人体への影響が予想される水準の放射線量が測定された場合は、摂取や出荷などの制限措置を行い、直ちに市民に周知する。

**質問** 大雪の影響で、隣県からの食料品輸送が途絶えた場合の対応はどうか。

**答弁** 各家庭や事業所へ3日分の自助による備蓄を推奨するとともに、災害時応援協定



▲県と連携した魅力あるまちづくりを求む



後藤 誠一 議員

### 歴史・文化を継承し地域の伝統を大切にしまちづくりを



▲公文書や歴史的価値のある文献などの適正な管理を

**質問** 平成25年10月のよしあきフェスタの開催は評価するが、イベントとして物足りなさを感じた。100年に一度のイベント開催をどのような思いで臨んだのか。

**答弁** 山形の成り立ちと最上義光公の「人となり」への理解を深めるとともに、街なかへにぎわいをもたらすためのイベントとして取り組み、多くの方に義光公のことを知ってもらえたと考えている。

**質問** 市民の歴史認識を深めるため、義光公の市史記述を修正してはどうか。

**答弁** 義光公に関する市史の

を締結している事業者へ食料品などの提供を依頼する。併せて、県・国などへ救援物資のヘリコプターなどによる搬送を要請していく。

**質問** 市民が蓄積してきた貴重な文化的財産の散逸を防ぐため、公文書や歴史的価値のある文献などを市が収集・管理し公開する公文書館などの施設が必要であると思うがど

**質問** 昭和4年にレコード化

記述は、戦国の世を生き抜く上での激しい面を記載している。一方「人間味豊かな一面も読みとることができると」の記載があり、多様な面を持った人物であることを示していると認識している。なお、記念事業の一環で義光公の「人となり」を知らせるための冊子を25年度中に発刊する。

**質問** よしあきフェスタを義光祭として継続すべきと思うがどうか。

**答弁** 最上義光歴史館を拠点としながら、山形の成り立ちや義光公の業績や「人となり」を紹介していく。また、街なか賑わいフェスティバルの中で義光公をテーマとしたイベントを盛り込めるよう、記念事業実行委員会の中で検討していく。

うか。

**答弁** 郷土館、山寺芭蕉記念館、最上義光歴史館で、各施設に関連する歴史的価値の高い資料の収集・保管を行い、展示という形で市民に提供している。今後も、公文書館の設置を含め、既存の施設を活用した収集方法などを調査研究していく。

**質問** 山形仏壇などの伝統工

**質問** 山形まるごと館紅の蔵でのイベント時など、さまざまな機会ですべての街山形を紹介できるよう検討していく。

**質問** 市長の目指すコンパクトシティのイメージと、国の考え方には大きな差があるように思う。優先度が最上位のプランであり、原点である都市計画マスタープランの中で、中心市街地の在り方をどのように考えていくのか。

**答弁** 本市が考えるコンパクトシティは、現在国土交通省で検討している「多くの拠点

芸・産業品の需要を増やすため、家屋に和室を設置した場合、その費用の一部を補助する制度を設け、伝統工芸・産業の振興につなげてはどうか。

**答弁** 伝統工芸産業のさらなる振興のためには、本市の伝統工芸産業を広く周知し、販路拡大を行うことが重要だと考えている。各種展示販売会の開催支援や見本市への出展

**質問** まちづくりを考える上で県の施設などを考えながら県と連携し検討すべきである。今後の連携と協議の進め方をどのように考えるか。

**答弁** 県有地の有効活用や県への要望などをさまざまな機会に議論している。県の施設への配置は中心市街地の機能に大きく影響するため、常に県と情報交換しながら連携してまちづくりを進めていく。

支援など、引き続き伝統工芸産業の振興に努めていく。

**質問** 森林再生と循環型社会を目指すため、新たに建築する公共建築物の木造化を進めてはどうか。

**答弁** 23年8月に公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針を策定した。今後も公共建築物の木造化・木質化を進めていく。



# 平成26年度 予算の概要

予算総額 1,781億4,603万7,000円  
(うち、一般会計予算 871億600万円)

## 主な事業と予算額 (千円以下切り捨て)

○安全・安心の都市機能の充実	
橋りょう長寿命化事業【新規】	4億7,050万円
市営南山形住宅建替事業	2億2,870万円
(仮称)西消防署整備事業【新規】	1億5,700万円
住宅リフォーム総合支援事業	1億4,563万円
特定建築物耐震診断補助事業【新規】	3,115万円
○産業の振興と中心市街地の活性化	
商工業金融対策事業【拡充】	37億7,088万円
企業誘致・立地促進事業【拡充】	15億9,226万円
水田農業構造改革対策事業	2億2,526万円
東北六魂祭開催事業【新規】	7,130万円
6次産業化促進支援事業	3,565万円
○高齢者や障がい者を支える福祉の充実	
自立支援給付事業	25億8,686万円
包括的支援事業(介護保険事業会計)	3億2,916万円
地域生活支援事業	2億1,123万円
高齢者外出支援事業【新規】	1,703万円
地域福祉活動活性化補助事業【新規】	900万円
○総合的な子育て環境の充実	
第五中学校校舎等改築事業【拡充】	12億7,488万円
こども医療給付事業【拡充】	9億2,393万円
子育て世帯臨時特例給付金給付事業【新規】	3億5,300万円
幼児遊戯施設整備事業【拡充】	3億3,230万円
民間立保育所施設整備事業【拡充】	2億3,374万円
○環境にやさしいまちづくり	
エネルギー回収施設整備事業	3億2,372万円
公衆街路灯LED化推進事業	1億8,112万円
市有施設太陽光発電装置等設置事業	9,515万円
小水力発電設備整備事業(水道事業会計)【新規】	1,200万円
小型家電リサイクル事業【新規】	154万円
○スポーツ施設の整備と明るく健康で活力あるまちづくり	
球技場整備事業【拡充】	8億6,435万円
新野球場整備事業【拡充】	1億1,430万円
スキージャンプワールドカップレディース蔵王大会開催事業	3,600万円
山形シティマラソン大会開催事業	3,200万円
がん検診推進事業(前立腺がん)【新規】	1,640万円
○地域コミュニティの充実と共創のまちづくり	
村木沢コミュニティセンター建設事業【拡充】	3億1,776万円
コミュニティセンター自主運営推進事業	2億3,522万円
飯塚コミュニティセンター建設事業	5,216万円
市民活動活性化事業	2,942万円
本沢コミュニティセンター建設事業【拡充】	1,763万円
○その他の政策課題に対応する事業	
臨時福祉給付金給付事業【新規】	7億3,600万円
個人番号制度導入に係る住民記録システム改修事業【新規】	1億8,000万円
国際青年会議所アジア太平洋会議山形大会開催地補助事業【新規】	3,000万円
市民会館改修事業	2,640万円
重要文化財「鳥居」保存修理事業【新規】	458万円



▲新年度予算を提案する市川市長

## 新年度 市政経営方針の概要

山形市では、「みんなで作る『山形らしさ』が輝くまち」を将来都市像に掲げ、各種施策を推進しています。平成24年度から、5年間を計画期間とした「山形市第二期経営計画」をスタートさせたところであり、26年度はその3年目に当たり、折り返し

の重要な節目になります。第2期経営計画は、前経営計画策定後の社会経済状況の著しい変化、少子高齢化の進展、東日本大震災の経験など、本市を取り巻く環境の変化に対応するため、それぞれ

の施策にどのように取り組むかを明示したものであり、現在、この経営計画のもと、まちづくりに鋭意取り組んでいます。第2期経営計画では、市政経営の4つの基本方針を定めています。

第1は、「大規模災害にも対応可能な安心できる体制の構築」、第2は、「山形らしさを活かした地域産業の活性化」とまちのにぎわいづくり、第3は、「子どもから高齢者まで明るく充実した生活を送ることができる地域社会の構築」、第4は、「地球環境の保全と循環型社会の構築」、以上4つの基本方針のもと、7つの重点政策、および重点政策と連携する施策を掲げており、これらの主要施策を、今後とも市民・事業者の皆様と手を携え、「共創のまちづくり」を進めながら、積極的に推進していきます。

施策の実現のために、市政経営の貴重な資源を最大限に生かし、効率的・効果的な経営を進めていきます。



# 山形市の発展に向けた 平成26年度当初予算

## 予 算 委員会 新年度予算

予算委員会では、平成26年度一般会計、特別会計および企業会計の新年度予算12件を審査しました。各分科会で審査の後、初めに一般会計予算を採決した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。続いて、特別会計および企業会計予算11件を採決した結果、いずれも全員異議なく可決すべきものと決定しました。

### 震災避難者の

### 心のケアの充実を期待

#### 総務分科会

**委員** 震災避難者の考え方が変化してきていると思うが、

避難者交流センターの在り方や情報提供の仕方についての今後の取り組みはどうか。

**防災対策課長** 現在も2000人を超える方が避難しており、相談内容が個別化、複雑

化しているため、個別相談の充実が必要だと感じている。

**委員** 公衆街路灯LED化推進事業は平成27年度も同規模で取り組んでいくのか。

**広報課長** 町内会からの設置申請を受けて設置しており、26年度は5898灯、27年度は4612灯の設置を予定している。

**委員** 豪雪対策本部の立ち上げの基準が明確になったことによるメリットは何か。

**防災対策課長** 以前は、50cmを越えることに加えて、今後、多量の降雪が見込まれ、市民生活に影響を及ぼす恐れがある場合」としており、立ち上げるまでに時間を要していたが、50cmを越えた時点で

すぐ立ち上げられるように見直したことで、素早い対応ができるようになった。

**委員** 山形国際ムービーフェスティバルや山形国際ドキュメンタリー映画祭への文化支援は、基準や考え方をしっかりと持たなければ今後の対応にも不安があると思うがどうか。

**文化振興課長** 文化振興の狙いとして、市全体の活性化に生かしていく視点が大事である。活動を通して山形から情報が発信されて、活性化に資するものであれば支援したい。

山形国際ドキュメンタリー映画祭に関しては、創造都市ネットワークに向けた取り組みを進めていく。文化的な活動をまちの活性化に生かしていくノウハウを参加する都市で共有し、産業活性化などに結びつけていきたい。

**委員** 活性化につながる事業に補助する考えは理解できる

が、中心市街地活性化に取り組んでいる中で、山形国際ムービーフェスティバルは郊外で行われている。一方、街なかでは別の映像事業者が映像作家を呼んでイベントを行い、資金も自主的な部分が多い。映像文化というのであれば、イベントも関連事業者が全体として取り組むようにすれば、もっと市民の意識向上につながるのではない

か。

**文化振興課長** 山形国際ムービーフェスティバルは、コンペティション形式で全国に公募し、若手映像作家を育成しており、それに係る事業に補助している。昨年から運営母体の興行組合に、県内すべての映画館が参加し、山形国際ムービーフェスティバルを支えている。映像関係者間の協力に関しても、山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局と事業者が創造都市ネットワークに向けた話し合いを始めるなど、協力していく姿は見えてきている。

**委員** 山形国際ドキュメンタリー映画祭は、市制100周年記念事業として始めたもの

であるため、市が主体的に関わって行うべき事業ではないか。また、貴重なフィルムライブラリーをどう活用しているのか。

**文化振興課長** 17年度までの開催を踏まえて事務局が市から独立し、負担金から補助金になった。ライブラリーには、世界的に高い評価を得ている映画祭の貴重な映像資料の蓄積があるため、市民への幅広い理解や日常的な活用について広く議論していく。

◇また、一委員から、山形国際ムービーフェスティバル開催補助金について、民間事業に行政が補助を出す場合の基準を明確にする必要がある



▲LED化が進む公衆街路灯



▲若手映像作家の育成に力を入れる山形国際ムービーフェスティバル

と思うが、考え方に納得できない、との意見がありました。

**委員** ふるさと納税をしてくれた方に、高価な品物を送っている自治体に対して違和感がある。山形に対する気持ちを掘り起こして、ふるさと納税をしてもらうのが本来の在り方だと思うがどうか。

**企画調整課長** 25年度までは、山形のまちづくりに貢献したいという気持ちを受ける立場だったが、26年度は山形を知ってもらうためのゆかりの物を送れるよう予算化した。ふるさと納税の本来の趣旨を忘れずに、さらにPRをしていく。

**委員** 男女共同参画推進条例が25年4月に施行されたが、行政や民間でどのような変化が生まれているのか。

**男女共同参画課長** 男女共同参画審議会委員の女性の割合を条例に合うように改選した。男女共同参画センターの運営委員の改選もあるため、条例に合うように検討している。26年度は、市民と事業者にアンケート調査を予定している。



▲ふるさと納税でもらえる山形のいも煮セット

**委員** 防災センターへの来館者が大幅に増えていると聞いているが、実績はどうか。

**予防課長** 24年10月1日のオープンから26年3月11日までの来館者数は2万1698人で、当初の予想を大幅に上回っており、市民の防火防災への関心が高いと考えている。

**委員** 24時間健康医療相談サービスの利用実績はどれくらいか。

**通信指令課長** 25年12月までに4843件の利用があった。特に、1歳から小学校就学前までの幼児に関する相談が多く、相談科目は内科・小児科が多い状況である。また、夜間・休日の医療機関案内は8

37件であった。  
**委員** 各地区の自主防災組織は、消防団と連携する一方で、もつと効率よく機能的に育っていくのではないかと。

**消防本部総務課長** 消防団を中心とした地域防災力の充実に関する法律の中で、消防団が教育訓練において指導的な役割を担うような必要の措置をとるとの条文があり、今後は、消防団と自主防災組織の有機的な関係を構築できるようにしていく。

**委員** 25年度に比べ、個人市民税が7億8000万円増えているが、現在の雇用環境の状況はどうか。

**市民税課長** 山形労働局では、力強く改善しているとしており、山形県発表の毎月勤労統計調査でも、12月の常用雇用が前年比で2・6%増と7カ月連続で増加し、雇用環境の改善が図られている。

**委員** 街なかの活性化を図るため、目的税である都市計画税の使い方を、全庁的に検討すべきではないか。

**企画調整部長** 都市計画税は都市基盤に対する目的税であり、その使途に沿って使われていくものである。現在は中心市街地活性化基本計画に基づいて投資をしている。

## 地域の福祉力向上を望み

### 補助金を創設

### 厚生分科会

**委員** 地域福祉活動活性化事業の内容は何か。

**生活福祉課長** 地域の福祉力の向上や地域における支え合い機能の強化が大切であると考え、地区社会福祉協議会への補助を創設した。今後、地域包括ケアシステムの構築を推進することが重要であり、地域の互助による福祉力の向上を図り、医療、介護と連携した高齢者支援を行う。

**委員** 具体的な事業計画はないのか。

**生活福祉課長** 地域での人材確保や三者懇談会の体制づくりなどへの支援を考えており、市社会福祉協議会・地区社会福祉協議会と話し合いをしながら進めていく。

**委員** 各地区へ一律に補助するのかが。

**生活福祉課長** 基本的に運営費補助ではないため、一律に補助するものではない。

**委員** 生活困窮者自立促進モデル事業の利用状況はどうか。

**生活福祉課長** 平成25年11月からの開始以降、532件、191人からの相談があり、



▲心をこめて、市民の悩みに答えます

そのうち8件について支援プランを作成した。生活に困っている人が多数いることが把握できたため、今後は相談内容を分析し課題を見極めながら、27年度からの本格施行に向けてケアができる体制を取れるようにしたい。

**委員** 特別養護老人ホームの待機者は何人いるのか。

**介護保険課長** 26年1月末時点の入所申込者は1162人いる。複数の施設に申し込みをしている方もおり、延べ人数では約2700人となる。

**委員** 市民相談は年間どれくらいあるのか。





▲警察と連携した信号機の設置で市民の安全・安心を確保

福祉文化センター所長 現在の対象者である約6万3000人のうち、1万人程度に影響がある。

健康課長 市民を対象に50人程度を募集するほか、窓口業務のある職員にも研修を実施していく。

委員 ゲートキーパーには、

委員 高齢者鍼灸マッサージ等助成の対象年齢を66歳以上から70歳以上に見直し、経過措置として毎年1歳ずつ段階的に引き上げることだが、その理由は何か。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 高齢者外出支援事業は、補助を行うだけでなく、バス事業者と協議する必要があると思うがどうか。

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

委員 ゲートキーパーには、

※ ゲートキーパー…悩んでいる人に声をかけて話を聞き、必要な支援につなげる人。

# 東北六魂祭に向け 万全の準備を求める

## 産業文教分科会

**委員** 東北六魂祭の開催に当たり、過去の3市での問題点やその対策について、どのように考えているのか。

**観光物産課長** 安全安心の確保が最重要であり、その中でも交通規制が一番の課題になる。路線だけではなく広範囲な規制となるため、人と車の誘導と緊急車両の確保が重要になる。トイレの確保は、公共施設や商店街も含め協力を求めている。

**委員** パレード会場の中央分離帯はどうなるのか。

**観光物産課長** 4車線のうち、東側2車線を踊り手が行き、西側の車線と歩道に観客を入



▲東北六魂祭のパレード会場

れる想定である。分離帯は市の予算で一時撤去し、東北六魂祭終了後に復旧する。

**委員** 勤労者生活安定資金融資貸付金の実績はどのようになっているのか。

**商工課長** 平成25年12月末までの貸し出し実績は、247件、約1億6600万円である。

**委員** 新規学卒未就職者を市の臨時職員として雇用し、就職支援を行っているが、その内容と現状はどうか。

**商工課長** 毎月のレポート提出と月2回の就活日を設け、若者就職支援センターで履歴書の書き方や面接の仕方などの支援を行っている。25年度は17人採用し6人の就職が内定しており、26年度も5人の採用を予定している。

**委員** 安定雇用促進奨励費補助金の1人当たりの補助金額とその効果はどうか。

**商工課長** 半年以上勤務し、非正規社員から正規社員となった場合、1人当たり6カ月経過で15万円を、さらに6カ月経過で15万円の計30万円

を補助している。25年12月末の実績は18人である。

**委員** 青年就農給付金が拡大されるが、どのような内容になるのか。

**農政課長** 認定されると1人当たり年額150万円を5年間支給される。25年度は13人、26年度は継続分も含め、21人の支給を想定している。

**委員** 特定農業用管路の石綿管は、あとどれくらい残っているのか。

**農村整備課長** 現在、蔵王上野地区で24年度から29年度までの計画で実施している。進捗率は25年度末で約22%、26年度末で45%になる予定である。

**委員** 地籍調査の進捗率はどうか。

**地籍調査室長** 25年度末時点で約7・3%、17・36km<sup>2</sup>が終了する予定である。

**委員** 市産材利用拡大促進事業費補助の状況はどうか。

**森林整備課長** 8m以上で25棟に補助しており、25年度は7月で予算額に達している。

**委員** 供給できるほど市産材は伐採できるものなのか。

**森林整備課長** 市有林からは、25年度に約2ha、111m<sup>3</sup>ほど供給している。民有林からは、26年度に20haの間伐を行

い供給してもらおう予定である。

**委員** 山形芸妓育成支援協議会負担金はどのように使われるのか。

**観光物産課長** 舞子から芸妓への伝承が進まない状況で、舞子のほとんどが25歳前後で退職しており、現在の山形芸妓6人のうち5人が70歳以上となっている。観光資源である山形芸妓の育成・活用をしていくため、一貫した育成指導や発表会などの費用を官民一体となり支援していく。

**委員** 買い物弱者対策は今後どのように進めていくのか。

**商工課長** 25年11月16日から、滝山コミュニティセンターと江南公民館でアンケートを取りながら、iPadを活用した実証実験を行った。今後地域での商業振興に結びつくよう取り組んでいく。

**委員** 奨学基金の現在の状況と今後の見通しはどうか。

**学校教育課長** 25年度は31人の生徒に貸付をしている。以前からの滞納者がいるため、当面は繰り出し金が必要だと考えている。最近貸付金額が市よりも高い県の制度の利

用者が増えており、本市の奨学金制度終了も検討している。



▲滝山地区で行われたふれあい市場の様子

**委員** 過大規模校対策について、通路の変更工事の状況と工事完了の時期はどうか。

**教委施設整備室長** 県で南沼原小と北側の新グラウンドをつなぐ歩道橋の整備を進めている。整備にあたり民地を提

供してもらうため、代替地として学校用地の一部を提供する。26年3月に民地の建物を撤去し造成を始め、26年8月下旬までには歩道橋の一部供

用が開始される予定である。

**委員** 商業高校の海外友好校推進事業は、どのような交流の日程と内容なのか。

**山形商業高事務長** 友好校の

※ 買い物弱者…自宅から商店までが遠く、食料品の買い物に支障がある人のこと。



締結を結んでいる中国吉林省第二中学校の訪問団を26年5月12日から18日まで受け入れ、本市からは10月20日から26日まで訪問する予定である。内容は、ホームステイや授業体験、交流会を実施する予定である。

**委員** 小・中学校の今後の空調の改修計画はどうか。

**教務施設整備室長** 26年度から中学校の冷暖房兼用の空調設備を整備していく。FF式石油暖房機の設置年数の古い学校から整備し、31年度までの中学校の工事を完了を想定し、その後小学校の整備を検討していく。

**委員** 元木の石鳥居の修復を進める中で、今後地元の方々と協議する場を設けていくのか。

**社会教育青少年課長** 有識者からなる検討委員会の中に地元の代表者1人に入ってもらう予定である。また、滝山地区で設立された保存会の意見も聞きながら保存修復を行っていききたい。

**委員** 無形民俗文化財を後世に継承するため、映像や写真などで残していくべきではないか。

**社会教育青少年課長** 無形民俗文化財の保存のため、26年

度は調査に向けた有識者の検討委員会を設置する。調査の対象や方法などの検討を行い、27年度に向けて実施の体制を作っていく。

**委員** 山形シティマラソン大会の今後の規模拡大に向けてどのように考えているか。

**スポーツ保健課長** 第2回大会は前回と同規模で開催し、その後交通規制について検証したうえで、規模拡大できるか検討していきたい。

**委員** 26年のスキージャンプワールドカップレディース蔵王大会では、トイレの数が少なく、待ち時間が非常に長かった。世界的に注目を集める大会であるため、観客の蔵王への印象も不安になる。今後、施設の整備は進められるのか。

**スポーツ保健課長** 冬季間のワールドカップ開催時には、観客席の上にも仮設トイレを設置し、観戦者の交通混雑の解消につなげる。今後は夏も使用できるようランディングバーンを整備し、通年型にすることで、スポーツだけでなく蔵王の振興につながるの



▲今年も大勢の参加者が予想される山形シティマラソン大会

はないかと期待している。

**委員** 学校給食の地場産の食材の使用割合はどれくらいか。

**学校給食センター所長** 24年度の実績で、県内産は29・7%、市内産は21・6%であり、地産地消のためできるだけ地場産を使うようにしている。

**委員** 市場の空調設備の改修費用が突出して多いが、今後の改修予定はどうか。

**市場管理事務所長** 卸売棟・管理棟・水産仲卸棟の空調設備を各事業者が業態に応じて使用しやすくなるよう、集中管理から個別方式に切り替えらる。工事は1カ年を予定しており、その後の空調工事はな

## 環境対策と都市基盤整備などの

### 事業を幅広く議論

#### 環境建設分科会

況はどうか。

**委員** 小型家電リサイクル事業は具体的にどのような回収方法を想定しているのか。

**ごみ減量推進課長** 集団資源回収、ボックス回収、持ち込み回収、イベント回収などを考えている。

**委員** 対象となる品目はどのようなものか。

**ごみ減量推進課長** レアメタルなどの回収率が高い携帯電話など30品目から50品目を考えている。

**委員** 上野最終処分場の現状や今後の見通しはどうか。

**廃棄物施設課長** 外部でプラスチックを減容処理するなど、搬入抑制に努めている。また、平成23年度にボーリング調査などを実施し検討した結果、減容プラスチックの外部処理の継続、新たに建設するエネルギー回収施設での焼却灰の溶融スラグ化、上野最終処分場の雨水の浸透抑制などを行えば、現在の整備エリア内で、さらに15年程度の埋立てが可能である。

**委員** 上市市川口地区のエネルギー回収施設整備の進行状

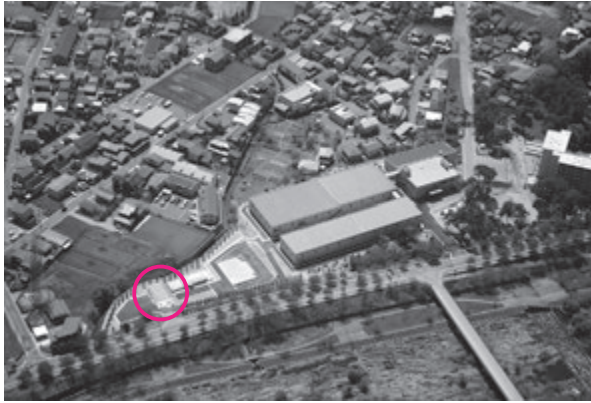


▲早期の耐震診断を望む

**委員** 特定建築物耐震診断補助事業に関して、対象建築物の件数はどれくらいあるのか。

**建築指導課長** 市内の対象建築物の12件のうち4件は耐震診断を実施している。未実施の8件は、ホテル4件、店舗2件、複合ビル1件、駐車場1件となっており、1月に所

※1 ランディングバーン…スキージャンプ競技で、着地してからの滑走路。  
※2 溶融スラグ化…廃棄物や下水汚泥の焼却灰などを1300℃以上の高温で溶融したものを冷却し、固化させたもの。



▲松原浄水場小水力発電室の位置図

**委員** 住宅リフォーム支援事業の今後の見通しはどうか。  
**建築指導課長** 県で26年度も継続することとなり、本市も予算を計上した。制度は25年度とほぼ同じだが、県補助の新たな要件として、3m以上の県産木材を使用した場合、補助限度額が10万円引き上げられる。今後も27年度

以降の継続を県に要望していきたい。  
**委員** ニュータウン内の都市計画道路金瓶久保手線の今後の事業見通しはどうか。  
**河川道路整備課長** 用地交渉の結果を踏まえ、28年度の完成に向けて事業を進めたい。  
**委員** 公園の長寿命化計画による経費縮減の取り組み状況はどうか。  
**公園緑地課長** 公園の長寿命化は、24年度に行った221カ所の公園の約5000以上の遊具の健全度調査を基に計画策定を行い、26年度から更新や修繕などを行っていく。施設が壊れる前に修繕を行う予防保全型管理を取り入れ、長寿命化することで、経費を縮減していく。  
**委員** 公園のトイレは何カ所設置するのか。また、優先順位はどのように決めるのか。  
**公園緑地課長** 26年度は2カ所に設置予定であり、公園の利用状況や立地状況、面積などを基に優先順位を決定している。

**委員** ジャバの温泉水が利用できるのか。今後井戸水利用のため燃料費が増加するが、温泉水の前処理設備の維持管理への影響はどうか。  
**公園緑地課長** 今後は井戸水利用のため燃料費が増加するが、温泉水の前処理設備の維持管理への影響はどうか。  
**委員** 水道管の官民境界から水道メーターまでの給水管の漏水修繕に対して、以前は助成金を交付していた。25年4月から上下水道部による漏水修繕に変更したが、利用実績はどれくらいか。

**委員** 水道管の耐震化工事の進行状況はどうか。  
**水道建設課長** 毎年2%程度の上昇で、25年度末の耐震化率は、約24%と見込んでいる。  
**委員** 水道管の官民境界から水道メーターまでの給水管の漏水修繕に対して、以前は助成金を交付していた。25年4月から上下水道部による漏水修繕に変更したが、利用実績はどれくらいか。  
**委員** 降雪時のマンホール付近の段差解消対策はどのようになっているのか。  
**下水道建設課長** 24年度から27年度までに、断熱中蓋設置を合計7000カ所予定している。

有者に文書で通知している。  
**委員** 住宅の耐震化の取り組みはどのように進めているか。  
**建築指導課長** 平成12年5月31日以前に建築された木造平屋・2階建ての建物が診断の対象で、該当する約5万8000戸のうち約6000戸の耐震診断を目標としている。耐震判定が基準を下回った建物は29年度までに合計140戸の改修を目標にしている。  
**委員** 松原浄水場小水力発電設備の進行状況はどうか。  
**上下水施設整備室長** 26年8月の完成をめどに工事を進めている。

**委員** 河川映像ネットワークのシステム構築で、須川沿岸7カ所のカメラ映像を受信することのだが、他にも危険性の高い河川があると思うが、なぜ須川だけなのか。  
**河川道路整備課長** 本市で独自にカメラを設置した場合は多額の費用がかかるため、国で設置しているシステムなどを利用するため須川沿岸となっている。また、県がカメラの設置を予定している箇所も映像の提供を依頼している。  
**委員** 他自治体では人手不足や資材不足などで入札を辞退することが多くなっているようだが、本市の現状はどうか。  
**管理住宅課長** 工事の入札辞退があった67件のうち入札不調は23件あるが、発注方法の見直しなどにより26年度に持ち越すものはない。

**委員** 住宅リフォーム支援事業の今後の見通しはどうか。  
**建築指導課長** 県で26年度も継続することとなり、本市も予算を計上した。制度は25年度とほぼ同じだが、県補助の新たな要件として、3m以上の県産木材を使用した場合、補助限度額が10万円引き上げられる。今後も27年度

はながた **べ二ちゃん** の **教えて! 議会用語**

**Q** 議員提案の政策条例ってなんだべ二?

**A** 市民の暮らしに直接関わる施策について、定数の12分の1以上の議員が賛成すると提案できる条例だよ。3月定例会では、山形市産の日本酒の消費拡大のため、議会運営委員会から提出された「山形市日本酒で乾杯を推進する条例」が可決されたよ。べ二ちゃんも大人になったら山形市産の日本酒で乾杯してね!

**給排水課長** 現在266件発注し、そのうち217件の工事が終了している。  
**委員** 下水道の地震対策はどのようになっているか。  
**下水道建設課長** 24年度に下水道総合地震対策の計画を策定し、危険度の高い管渠かんきょを選定した。そのうち約5kmを29年度までに改築する予定である。また、緊急輸送道路上のマンホールの浮上防止対策や、マンホールポンプの停電対策としてバイパス管の設置を予定している。

※ 官民境界…自治体などが所有する土地と隣接する民有地との境界。



# 市民生活に直結する事業や豪雪対策にかかる経費を審査

## 予算委員会 補正予算

予算委員会では、平成25年度一般会計補正予算などの議案3件と、豪雪対策や国の補正予算に伴う一般会計補正予算の追加議案を審査しました。

学校施設の環境改善のため国から約2億4千万円の補助

### 総務分科会

**委員** 国からの補助を受けて、学校施設の吊り天井落下防止対策に取り組むが、窓ガラスの飛散対策も必要だと考える。今後の取り組みはどうか。

**財政課長** 平成27年度までに吊り天井の安全対策を行うよう国から指導があり、本市に

## 3月の主な補正予算 一般会計 33億3,799万円

- <主なもの> (千円以下切り捨て)
- 第五中学校校舎等改築事業……………10億7,502万円
  - 介護サービス基盤整備事業……………6億229万円
  - 小・中学校屋内運動場等吊り天井落下防止対策事業……………2億7,870万円
  - 道路新設改良事業……………2億7,000万円
  - 村木沢コミュニティセンター建設事業……………2億3,750万円

### 広報課長

作業後に交

付しているが、町内会によっては年度末の資金繰りの課題がある。制度の改善に向けて努力していく。

**委員** 最上義光歴史館改修の予算の繰り越しは、部材や労働者不足など不測の事態が要因と言われているが、実態はどうなのか。

**文化振興課長** 6月の補正予算後に設計し、年明けに入札を行ったが、部材工場が復興景気の影響などで、新たな発注を受け入れるには時間を要するため、入札不調となった。

これまで土木関係工事が込んでいたが、建築工事などにも及んできたと考えている。

### 介護施設のスプリンクラー設置状況は？

#### 厚生分科会

**委員** 今回の補正のほかに、スプリンクラーの設置が必要な介護施設はないのか。

**長寿支援課長** 小規模多機能型居宅介護事業所1カ所と県に届け出をする有料老人ホーム4カ所を除けば全て設置されることになる。そのうちの3カ所では、移転または改築の計画がある。

**委員** 移転や改築を計画している事業所に対して設置期限は設けないのか。

**長寿支援課長** 設置期限は設けていないが、これまで同様、今後も早期に設置するよう指導していく。

**委員** 臨時福祉給付金はどのように周知するのか。

**生活福祉課長** 制度の概要を広報やまがたとホームページで周知していく。民生委員児童委員や自治推進委員にも説明することで、地域の方々へ周知していきたい。

**委員** 子育て世帯臨時特例給付金のシステム開発費に対する国からの補助額は、各自治体で違うのか。

**こども福祉課長** 国の補助の目安として、自治体の規模などで開発費用が異なると考えられている。

### 小学校トイレの洋式化率向上を図る

#### 産業文教分科会

**委員** トイレの洋式化率の目標はどの程度か。また、温水洗浄便座の導入を検討しているのか。

**教委施設整備室長** 今後6年間で28校を対象にトイレの改修を行い、最終的に63・6%程度の洋式化率を目標としている。また、温水式の暖房便座の導入も一部検討している。

**委員** 吊り天井などの落下防

止対策工事の期間はどのくらいか。

**教委施設整備室長** 約5カ月程度を想定している。夏休みを中心に6月から9月頃に吊り天井の撤去などの工事を予定している。

**委員** 豪雪による被害状況はどうか。

**農政課長** パイプハウスの倒壊が99棟で面積が約1万5300㎡、キウイフルーツの果樹倒壊が1件で面積は約2000㎡である。

**委員** 新しい学校を建設する際の防災に対する教育委員会の考えはどうか。

**教育部長** 学校は地域の拠点施設であり、災害時には避難場所にもなるため、市全体の防災対策の中で反映できるものについては取り組んでいきたい。

### 豪雪対応の除排雪に関する予算を追加補正し審査

#### 環境建設分科会

**委員** 平成26年2月15日の豪雪での除排雪に対する要望や苦情は何件あり、内容はどのようなものだったのか。

**道路維持課長** 今回の豪雪は朝方の急な積雪のため日中の除雪となり、時間がかかってしまった。除雪車が来ないと

※1 臨時福祉給付金…平成26年4月からの消費税8%への引き上げに対し、低所得の方への負担の影響を鑑み、臨時的に支給される給付金。  
※2 子育て世帯臨時特例給付金…平成26年4月からの消費税8%への引き上げに対し、子育て世帯の影響を緩和し、消費の下支えを図るため、臨時的に支給される給付金。

いったものや、路面のわだちや降雪状況などへの要望や苦情があり、件数は1700件との報道があったが、同じ箇所に関する苦情などもあり、実質は500件ほどと考えている。

**委員** 除排雪の対応は、市民の自助、共助を呼びかけるべきだと考えるがどうか。

**道路維持課長** 25年12月15日号の広報やまがたで、道路の除排雪計画や除排雪の協力を掲載している。今後も広報などでPRし、市民の協力を得ながら除雪に望みたい。

**委員** 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業で、現在把握している修繕などが必要な遊具はどれくらいあるのか。



▲計画的に修繕が進められる公園遊具

**公園緑地課長** 修繕が必要な遊具は400基程度あり、長

寿命化計画の中で随時、修繕や更新を行っていく。

**委員** 霞城公園の整備は人手不足で工事が遅れたとのことだが、その要因は何か。

**公園緑地課長** 震災復興需要の影響や土堀の復元工事という専門的で特殊な工事であるため、職人が少なく、人材が不足している状況である。

**委員** 道路新設改良事業の線

## 歯と口腔の健康づくり推進条例を審査 — 公契約条例は再度、継続審査へ —

### 常任委員会

常任委員会では、歯と口腔の健康づくり推進条例の設定や十日町土地区画整理事業施行条例の廃止などの議案17件と、継続審議中の公契約条例の設定について審査しました。

**市民の歯と口腔の健康を願う  
条例を審査**

#### 厚生委員会

**委員** 平成23年に施行された歯科口腔保健の推進に関する法律には、各自治体で歯と口腔に関する条例を定める義務や期限などはあるのか。

**健康課長** 各自治体で条例を定める義務はないが、全国各地で理念条例を策定しており、本市も推進の姿勢を示すため策定することとした。

**委員** 児童館の今後の活用を

り越しは、資材不足が主な要因とのことだが、特殊な資材を使っているのか。それとも物流の関係での不足なのか。

**河川道路整備課長** 新出羽高揃線の高揃橋の橋脚工事で、当初はオープン掘削で行う予定であったが、地下水の湧出があり、急きょ鋼矢板の手配が必要になり時間がかかってしまった。

どのように考えているのか。

**こども保育課長** 午前中は未就学児、午後からは小学生を中心に遊びの場を提供するなどの有効的な活用を考えている。すくすくネットで随時情報を提供しているが、PR方法をさらに検討したい。

**委員** 児童館を分かりやすい名称にすべきではないか。また、LINEなどを活用して情報を発信してはどうか。

**委員** 4月からの児童館運営



▲児童のふれあいの場に有効活用

は嘱託職員や臨時職員になるが、運営に不安はないのか。

**こども保育課長** 4月からは、こども保育課長が館長となる。保育士が巡回し、現場に支障がないようにしていきたい。

**委員** 児童遊園の名称変更に伴い、看板は付け替えるのか。

**こども福祉課長** 条例上の名称を変更する箇所はあるが、地域ではこれまでの名称が浸透しているため、看板の付け替えはせず、一部修正をしながら対応していきたい。

**委員** みなし償却資産を資本剰余金の処分としたのはなぜか。

**済生館管理課長** みなし償却制度が廃止となり、資本剰余金を処分するには議会の議決又は条例の設定が必要となる。26年度から会計制度が変更となるため、3月中に資本剰余金の額を確定したい。

## 公契約条例の訂正を受け 再度、慎重に審査

### 総務委員会

**委員** 業者を守る観点から、入札制度に対する業界の不安にどのように対応していくのか。

**契約課長** 入札制度の中で最低制限価格の引き上げ要望があり、平成26年4月以降の契約から引き上げていく。業務委託は、低入札価格調査制度を使用してきたが、工事請負契約と同じ最低制限価格制度を導入していく。

**委員** 今回の議案の訂正で、作業報酬審議会委員の人数を6人から15人に拡大した理由は何か。

**契約課長** より幅広い意見を取り入れるため、人数を多くした。委員は、業界や労働者、学識経験者から選ばれるが、議論のバランスが保たれるよう、人数構成は十分検討していく。

**委員** 条例に「当分の間」という表現があるが、いつまでなのかを判断する際は、作業報酬審議会の意見が反映されてくるのか。

**契約課長** 条例が定着するまでの間、罰則などは適用しないこととし、条例上の表現として、「当分の間」と表して



いる。運用状況を議会や作業報酬審議会に報告し、意見を聞いた上で判断していく。

**委員** 条例によって、下請け業者の賃金を規制することはできるのか。

**契約課長** 元請けが作業報酬下限額を守らなかった場合は市が直接指導できるが、下請けに関しては努力義務として

いるので、元請けに対し、適切な指導をお願いすることとなる。その結果、下請けが作業報酬下限額を守らなかったとしても、元請けに対する契約解除や公表などはできない。

**委員** 現在の入札制度に問題はないのか。

**契約課長** 作業報酬下限額を定めるのであれば、最低制限価格を引き上げてほしいとの意見があるほか、総合評価方式などの意見交換をしている。業務委託に関しては、これまで実績や状況を精査して適正な価格で行っており、今後は積算基準を明確にしていく必要がある。それぞれ入札制度の改善を図っていく。

**委員** 25年10月に事業者へアンケート調査を実施したが、現場の実態調査も必要ではないか。

**契約課長** アンケートは元請け事業者などに行った。今後、

作業報酬審議会において賃金の下限額を定める必要があるのか、調査しながら進めていく。

**委員** いまだに反対がある中で、運用しているのか。

**契約課長** 事業者団体で懸念してきたことは、今回の議案の訂正で応えている。今後十分に説明をしていく。

**山形商業高校の授業料が有償に**

産業文教委員会

**委員** 公立高校に係る授業料の法律の改正で支給要件に所得制限が設けられ、所得の確認など事務量が増えることになるが、職員は増やすのか。

**山形商業高校事務長** 新たな業務が発生することになるが、臨時職員の雇い上げや雇用期間の変更なども含めて現在の体制で対応していく。

**委員** 山形テルサの大会議室を縮小させ、県と山形労働局で女性の就労支援センターを開設することだが、テルサ全体の使用料はどのように見込んでいるのか。

**山形テルサ館長** テルサ会議室の施設使用料は減るが、目的外使用料は増えるため、テルサの収入全体は増えることになる。

**松原浄水場への小水力発電設備設置の条例を審査**

環境建設委員会

**委員** 松原浄水場小水力発電設備基金条例で、条例案に「余剰電力の売払い収入を設備の維持管理及び更新に充てる」とあるが、松原浄水場全体が該当するのか。それとも小水力発電設備のみが該当するのか。

**委員** 蔵王ダム導水管路で予定されている発電設備設置を含め、小水力発電によるメリットをどのように考えているのか。

**経営企画課長** 小水力発電設備の維持管理や更新に充てていく。

**委員** 蔵王ダム導水管路で予定されている発電設備設置を含め、小水力発電によるメリットをどのように考えているのか。

**道路維持課長** 山形県道路公社からは、すでに精算機の対応は済んでいると聞いている。

**経営企画課長** 将来的には松原浄水場の電気料金の約6割が削減されると想定している。

**委員** 県営山形駅西口駐車場の料金変更に関する本市の同意に関して、料金改定に伴う対応はどうなっているのか。

**道路維持課長** 山形県道路公社からは、すでに精算機の対応は済んでいると聞いている。

**請願・陳情**

3月定例会で審議された請願は、新たに提出された7件です。陳情は、新たに提出された1件と、継続中の1件を審査しました。結果は以下の通りです。  
(※印は意見陳述が行われたものです。)

番号	種別	件名	提出者	紹介議員	所管委員会	結果
第1号	新規	要支援者への予防給付を市町村事業へ移行するなどの改正に反対することについて	公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部 世話人代表 山名康子	高橋 公夫 阿部 喜之助	厚生	継続審査
第2号	新規※	ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する救済について	全国B型肝炎訴訟新潟原告団 代表 金子 剛 ほか1人	後藤 誠一 諏訪 洋子 武田 新世 阿野 隆仁 小野 秀明	厚生	採 択
第3号	新規	特定秘密の保護に関する法律の廃止を求めることについて	山形地区平和センター 議長 有川正彦	齊藤 栄治 水野 一美 佐藤 希子	総務	採 択
第4号	新規	適切な施設管理を求めることについて	NPO法人山形県喫煙問題研究会 会長 川合厚子	小野 仁	総務	不採択
第5号	新規	山形県受動喫煙防止条例の制定を求めることについて	NPO法人山形県喫煙問題研究会 会長 川合厚子	小野 仁久 遠藤 香織 伊藤 誠一 今野 誠一	厚生	継続審査
第6号	新規	特定秘密保護法に関することについて	連合山形地域協議会 議長 渡辺祐二	川口 充律 佐藤 希子 小野 仁	総務	採 択
第7号	新規	労働者保護ルール改悪反対を求めることについて	連合山形地域協議会 議長 渡辺祐二	今野 誠一 佐藤 秀明 武田 明聡	産業文教	継続審査
第2号(H25)	継続	(仮称)「山形市公契約条例」について	一般社団法人山形県ビルメンテナンス協会 会長 黒田美喜男 ほか1人		総務	継続審査
第1号	新規※	「山形市公契約条例」について	公契約条例制定をすすめる会 代表 佐藤 弘		総務	継続審査

●議決の結果は、20ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。

## 意見書(要旨)

3月定例会で可決された意見書は2件です。いずれも関係機関に送付しました。

### ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する救済を求める意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、インターフェロン治療と核酸アナログ製剤治療に限定されているため、助成の対象から外れている患者が相当数に上っている。また、現在の身体障害者手帳の認定基準はきわめて厳しく、肝炎患者病状に合致する基準となっていないため、支援を必要とする大多数の患者が認定を受けられない状況にある。よって、国においては、次

の事項について早期に実現するよう強く要望する。

1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

2 身体障害者福祉法の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

### 特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書

特定秘密保護法については、現在も大きな危惧や懸念、不安の声が収まっていない。特定秘密の定義は極めて曖昧で、秘密の範囲が際限なく拡大し、処罰範囲が歯止めなく広がるおそれがあり、国民の「知る権利」や表現の自由、取材・報道の自由を著しく制

限し、日本国憲法の基本原理を根底から覆すものである。よって国においては、「特定秘密保護法」について、「国民の知る権利」と「報道の自由」を守るため、廃止するよう強く求める。

## 人事案件

### 教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員のうち、1人の任期が3月31日で満了することに伴い、引き続き無着氏の任命について全会一致で同意しました。  
無着 道子氏(長谷堂)

### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が3月31日で満了することに伴い、引き続き伊藤氏の選任について、全会一致で同意しました。  
伊藤 一雄氏(久保田)

## みみり情報

### 山形市 東北六魂祭

とき 5月24日(土)~25日(日)  
ところ 市内中心部  
内容 山形市役所西側大通りでの祭りパレードのほか、各市の向産市なども開かれ、復興に向けた決意と「東北の元気」を発信する祭です。  
問い合わせ先 東北六魂祭実行委員会  
☎665-0122

### 山辺町 開館20周年記念企画展 ふるさと資料館所蔵展

とき 7月1日(火)~12月21日(日)  
ところ 山辺町ふるさと資料館  
内容 開館20周年を迎えるふるさと資料館で所蔵展を開催します。  
問い合わせ先 山辺町ふるさと資料館  
☎664-5033

## 会議日誌

日	内容	日	内容
(1月)	14日 議会改革検討委員会、 討委員会、 厚生委員会	27日	3月定例会開会
20日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会	20日	議会運営委員会
(3月)	5日 本会議(一般質問)	19日	環境建設委員会
6日	本会議(一般質問等)	17日	総務・厚生・産業文教・ 環境建設分科会
		14日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		13日	総務・厚生・産業文教・ 環境建設分科会
		12日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		11日	議会運営委員会、 予算委員会、 本会議、議会
		10日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		9日	総務・厚生・産業文教・ 環境建設分科会
		8日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		7日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		6日	本会議(一般質問等)
		5日	本会議(一般質問)
		4日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		3日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		2日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会
		1日	議会改革検討委員会、 議会運営委員会

## 次回定例会のお知らせ

6月定例会の日程(予定)

6月12日(木)  
~27日(金)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404



## 議員定数・議員報酬・政務活動費の削減を決定

議会改革検討委員会では、市議会自らが議会費の削減に取り組むことで、市の行財政改革を一層推進するため、議員定数・議員報酬・政務活動費の見直しを検討してきました。

平成25年5月以降、28回の委員会を開催し、同規模人口の市の状況の把握や議会・議員に対する市民意識の聴取方法などについて協議を重ね、平成25年11月には市民アンケートを実施しました。

その後、各会派から出された見直し案や意見を基に協議が行われ、平成26年2月には議会改革検討委員会としての見直し案を決定し、意見募集（パブリックコメント）を実施しました。

お寄せいただいたご意見を基に再度協議した結果、改正内容を決定し、3月定例会最終日に議会案を上程、全会一致で可決されました。

### 《改正内容》

#### ○議員定数

33人（2人減）

#### ○議員報酬（月額）

議長 740,000円（3万円減）

副議長 690,000円（ // ）

議員 640,000円（ // ）

#### ○政務活動費（月額）

100,000円（2万円減）



▲検討結果を報告する議会改革検討委員会

この度の見直しにより、議員約4人分の費用が削減されます。（適用は次期選挙から）

- ※1 議員の報酬額と、当選回数（期数）および得票数は関係ありません。
- ※2 議員に退職金はありません。また議員年金制度は平成23年に廃止となりました。
- ※3 本市議会では、議員に対する交通費などの費用弁償は支給していません。

### パブリックコメントの実施結果

2月18日から3月3日にかけて、上記見直しについてパブリックコメントを実施し、33人の方々からご意見をお寄せいただきました。

なお、お寄せいただいたご意見は、市議会ウェブサイト内に掲載しています。（「議会改革の取り組み」をご覧ください。）

### 編集後記

風薫る5月。つらい花粉症の季節もようやく終わると、ほっとしていらっしやる方も多いのではないだろうか。

3月定例会は、「山形市日本酒で乾杯を推進する条例」を皮切りに、26年度予算の審議をはじめ、議員定数・報酬の削減、特定秘密保護法廃止への意見書採択、公契約条例の審議など盛りだくさんでした。議会報委員会も、こうした議会への関心をさらに持っていただくために、全国の先進例に学びながら「ああでもないこうでもない」と議論を重ねています。

市民のみなさまのご意見もお待ちしております。

議会報委員 阿曾 隆

### ご意見をお聞かせください

現在、本市議会では議会報の全面リニューアルに向けた検討をしています。議会報に対するご意見はこちらまで。

e-mail

[giji@city.yamagata-yamagata.lg.jp](mailto:giji@city.yamagata-yamagata.lg.jp)

ウェブサイト [やまがた市議会](#) [検索](#)

